

2020年1月15日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

ブライダル総研

# 恋愛・結婚調査2019

- ◆ 恋人がいない人は約7割。男性20代は交際経験がない人が約4割。
- ◆ 恋人づくりのためには、自らが良いと感じられる出会いの幅を広げることや、異性との接点量を増やすことがカギ。
- ◆ 結婚意向がある人には“出会いを提供”することが何よりも重要。

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ(本社:東京都品川区 代表取締役社長 柏村 美生)が運営するリクルートブライダル総研では、恋愛や結婚について詳細を把握するために、「恋愛・結婚調査2019」を実施しました。ここに、調査結果の要旨をご報告いたします。

## <恋愛の実態>.....P3・4

**恋人がいない人は約7割。そのうち恋人が欲しい人の割合は約半数を超える。男性20代は交際経験がない人が約4割。**

- ✓ 恋人がいる人の割合は32.1%で、恋人がいない人の割合は67.9%。女性より男性の方が恋人がいる人の割合が低く、これまでに交際経験がない人の割合が高い。特に、男性20代の交際経験がない人の割合が高い(39.5%)。
- ✓ 現在、恋人がいない人のうち、恋人が欲しい人の割合は56.2%で、若年層ほど高くなっている。

## <恋人が欲しいとは思わない理由／恋人がいない理由>.....P5・6

**恋人が欲しいとは思わない背景にあるのは、気楽な一人の生活を崩してまで恋愛するのは面倒という“自分ファースト”志向。恋人がいない理由は“出会いのなさ”。**

- ✓ 現在、恋人がいない人の恋人が欲しいとは思わない理由は、「一人の方が気楽だから」が最も高く、次いで「恋愛が面倒だから」となっており、気楽な一人の生活を崩してまで恋愛するのが面倒な傾向がある。
- ✓ 現在、恋人がいない人の理由は、男女ともに「出会いがないから」が最も高い。

## <現在恋人がいる人・いない人の特徴>.....P7・8

**恋人がいる人は出会いの幅を広げている。加えて友人の数や異性との接点量も多い。**

- ✓ 恋人がいる人は、恋人がいない人に比べ、「学校・サークル」「職縁」といった“自身のコミュニティ内での出会い”だけでなく、「友人紹介」「婚活サービス」といった“自身のコミュニティ外での出会い”も良いと感じている割合が高い。
- ✓ 恋人がいる人は恋人がいない人よりも「同性の友人」が1.6倍、「異性の友人」が1.8倍、「インターネットのみでつながっている友人(同性異性問わない)」が1.9倍と、友人の数が多い。「ここ1年以内で接点を持った異性の数」は2.0倍と、異性との接点量も多い。

## <結婚できると思う割合／結婚できないと思う理由>.....P9・10

**結婚意向があっても結婚できると思う人は半数に留まる。結婚できないと思う理由のトップは“出会いのなさ”。**

- ✓ 結婚意向のある人のうち、将来結婚できると思っている人は約半数(53.6%)。
- ✓ 結婚意向はあるのに結婚できないと思う人の、結婚できないと思う理由は、「出会いがないから」が最も高く、出会いを提供することが重要だといえる。

- ◆ 出版・印刷物へデータを転載する際には、「恋愛・結婚調査2019(リクルートブライダル総研調べ)」と明記いただきますようお願い申し上げます。
- ◆ 「恋愛・結婚調査2019」の詳細は、下記広報担当までご連絡ください。

リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】  
[https://www.recruit-mp.co.jp/support/press\\_inquiry/](https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/)

**【調査方法】**

インターネットによるアンケート調査

**【調査期間】**

2019年9月12日(木)～2019年9月14日(土)

**【調査対象】**

全国の20～49歳の未婚男女

**【回収サンプル数】 2,400人**

本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウェイトバック集計)。

※未婚者に離別、死別者(今は結婚していない)は含んでいない

**回収サンプル構成**

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	200	200	200	200	200	200
女性	200	200	200	200	200	200

合計：2,400サンプル



本調査対象者を抽出するために行ったスクリーニング調査に対して「平成27年総務省統計局人口推計」の「男女年代別人口」を用いてウェイトバック補正を行い、そのスクリーニング調査より算出した各セルの構成比をもとに、本調査対象者(2,400ss)の補正を行った。

**ウェイトバック補正後のサンプル構成**

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	372	287	207	177	177	136
女性	339	236	150	120	116	83

合計：2,400サンプル

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。

**◆人口構成比算出元データ**

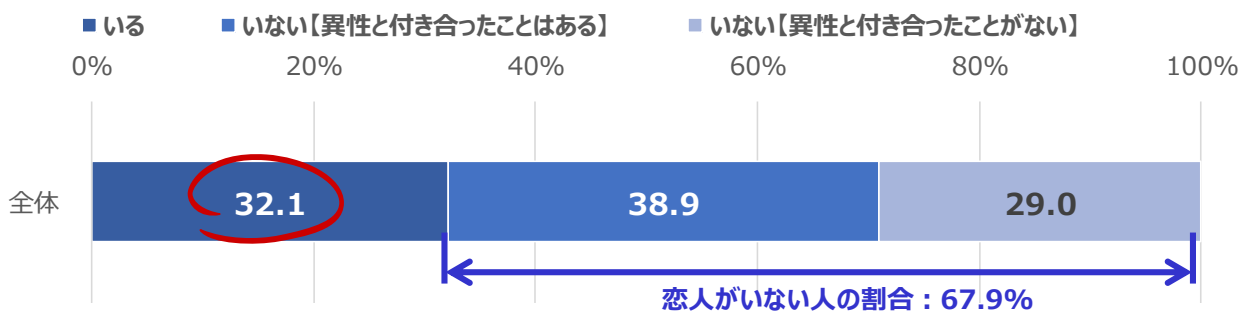
・平成27年総務省統計局人口推計より

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/>

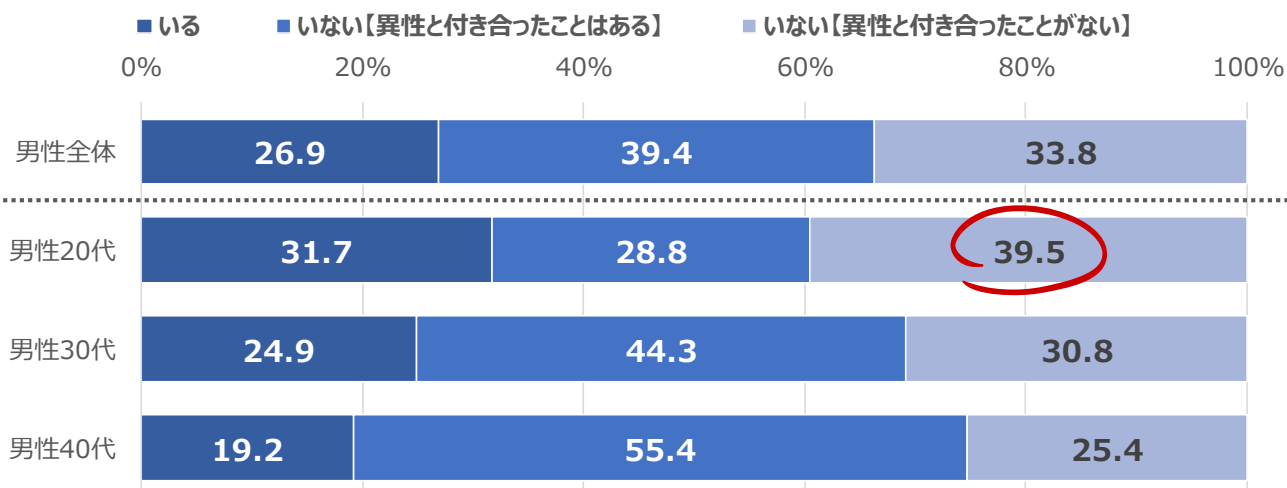
20～40代未婚男女のうち、恋人がいる人の割合は32.1%で、恋人がいない人の割合は67.9%。  
女性より男性の方が恋人がいる人の割合が低く(男性:26.9%、女性38.9%)、これまでに交際経験がない人の割合が高い(男性:33.8%、女性22.9%)。特に男性20代の交際経験がない人の割合が高い(39.5%)。

### ■恋人がいる人の割合(全体/単一回答)

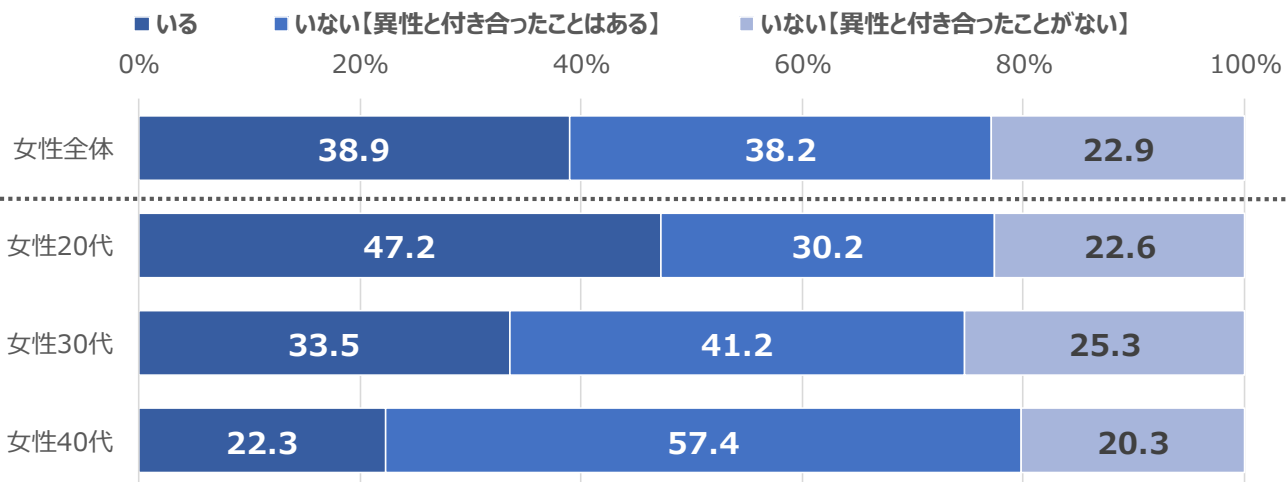
#### <全体>



#### <男性>

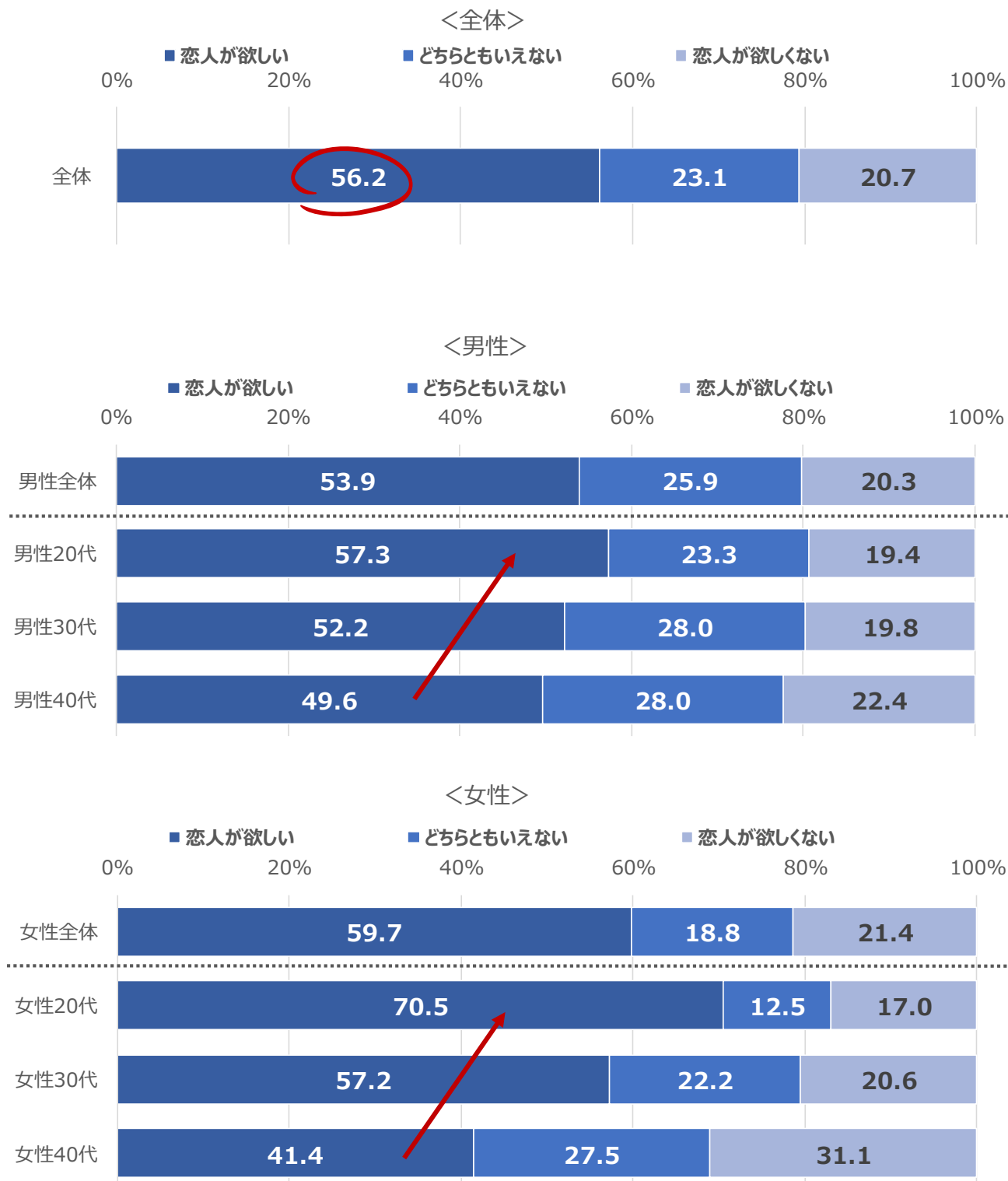


#### <女性>



現在、恋人がいない人のうち、恋人が欲しい人の割合は56.2%で、恋人が欲しくない人の割合は20.7%。  
恋人が欲しい人の割合は若年層ほど高くなっており、特に女性でその傾向が顕著。

### ■恋人が欲しい割合（現在、恋人がいない人／単一回答）



## 恋人が欲しいとは思わない理由

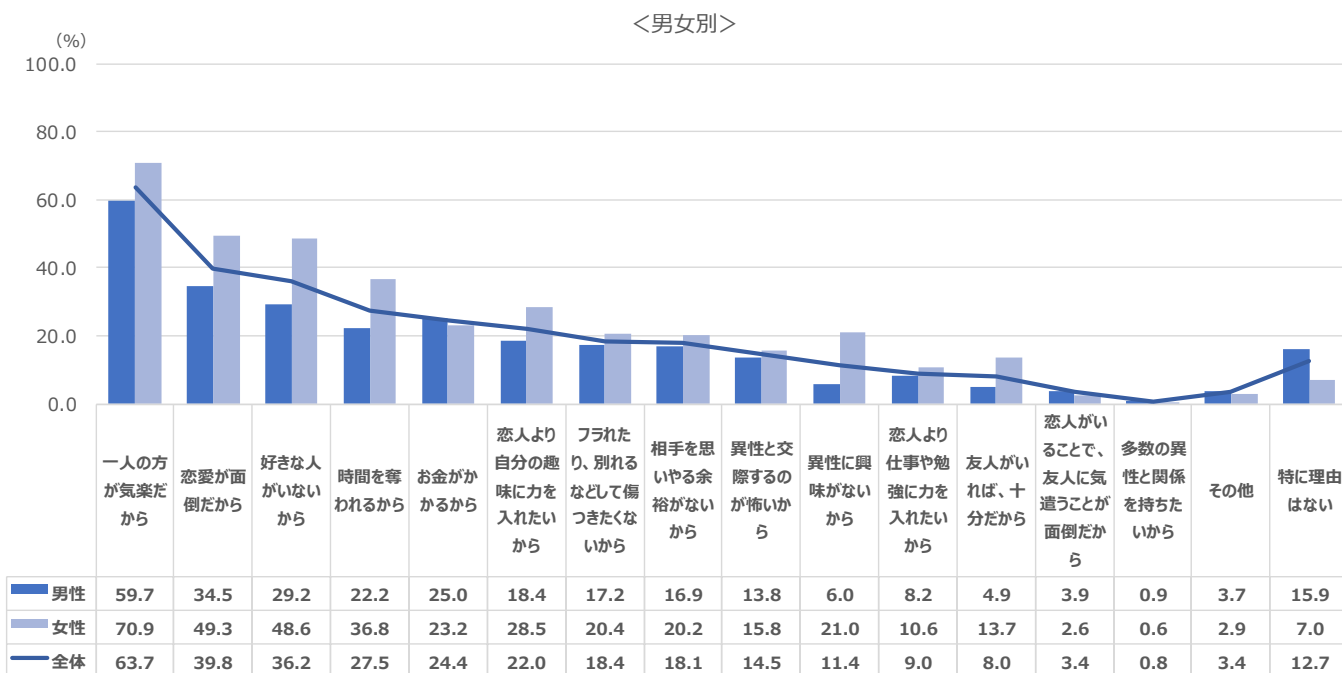
現在、恋人がない人の恋人が欲しいとは思わない理由は、「一人の方が気楽だから」が最も高く、次いで「恋愛が面倒だから」となっており、気楽な一人の生活を崩してまで恋愛するのが面倒な傾向がある。

男女別にみると、全体的に女性の方がスコアが高い。

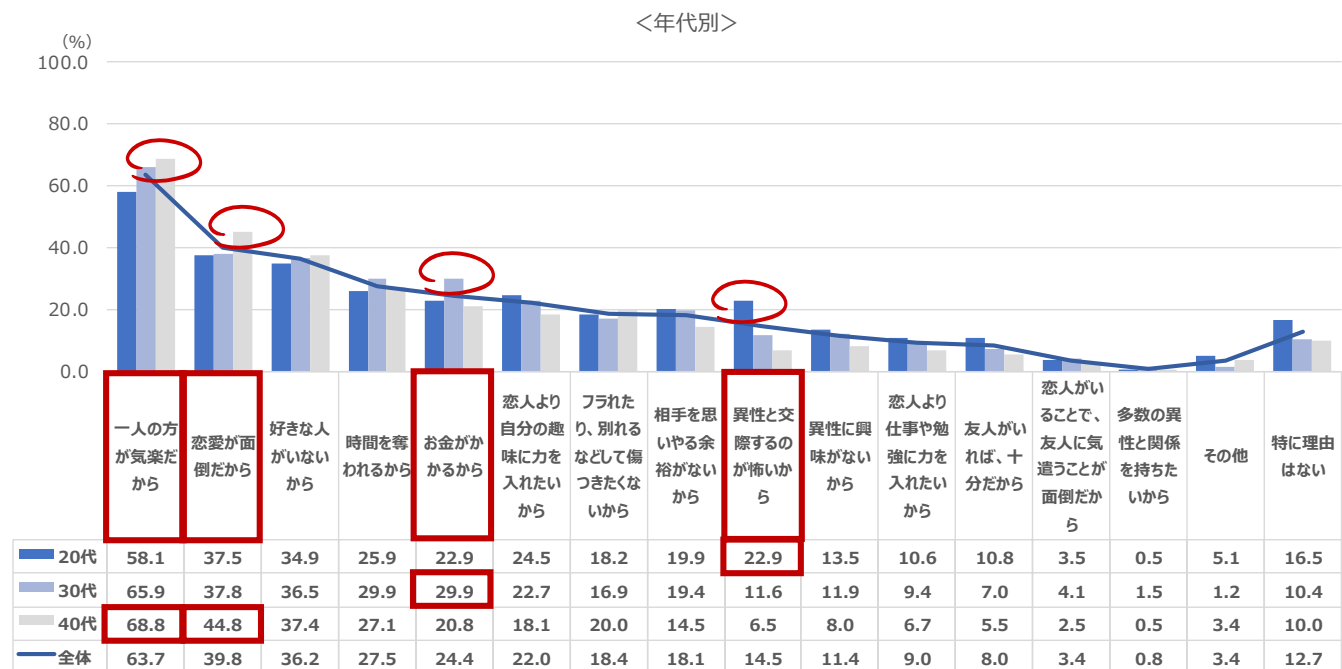
年代別に比較すると、20代では「異性と交際するのが怖いから」が高く、リスク回避志向が、30代では「お金がかかるから」が高く、現実志向がうかがえる。40代では「恋愛が面倒だから」「一人の方が気楽だから」が高く、一人の生活が固定化している様子がみてとれる。

### ■恋人が欲しいとは思わない理由（現在、恋人がない、かつ恋人が欲しいとは思わない人／複数回答）

※「恋人が欲しいとは思わない人」：「恋人は欲しくない」「どちらともいえない」と回答した人



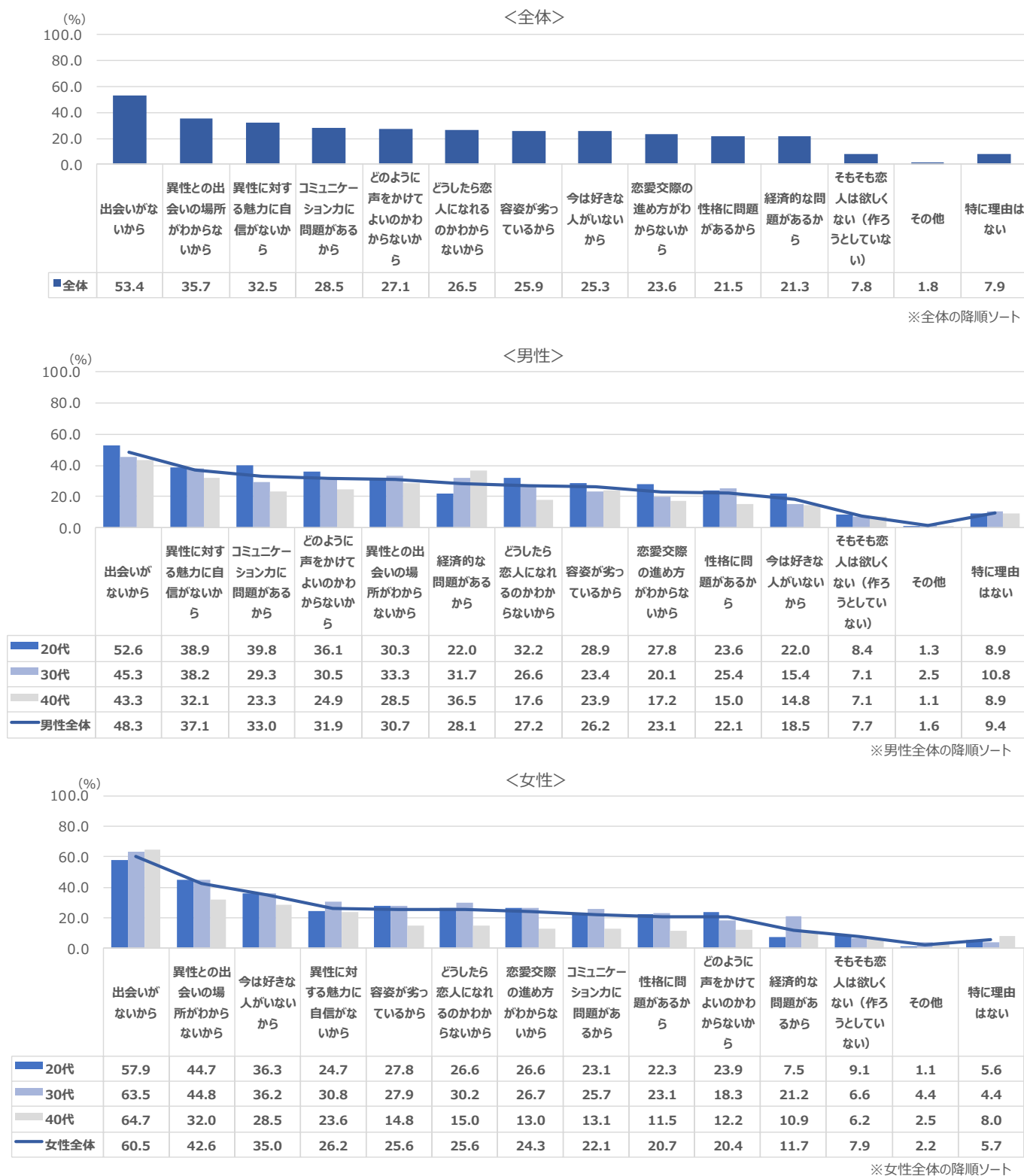
※全体の降順ソート



※全体の降順ソート

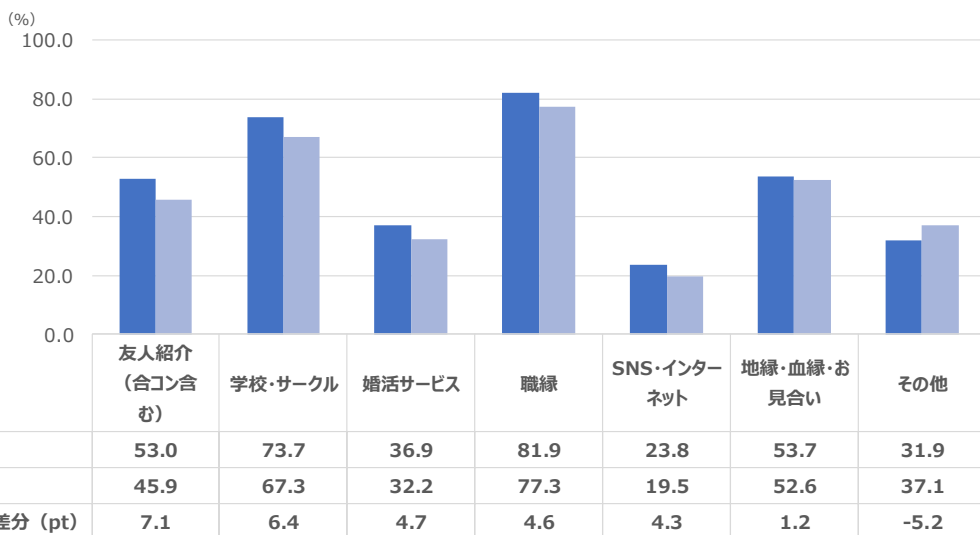
現在、恋人がない人の理由としては、男女ともに「出会いがないから」が最も高く、男女それぞれどの年代にも共通している。

### ■恋人がない理由（現在、恋人がない、かつ恋人が欲しい人／複数回答）



恋人の有無別に「恋愛・結婚相手について、自らが良いと感じられる出会い方」をみると、恋人がいる人は恋人がいない人に比べ、「学校・サークル」「職縁」といった“自身のコミュニティ内での出会い”だけでなく、「友人紹介」「婚活サービス」といった“自身のコミュニティ外での出会い”も良いと感じている割合が高い。

### ■恋愛・結婚相手について、自らが良いと感じられる出会い方（全体／複数回答）



※差分による降順ソート

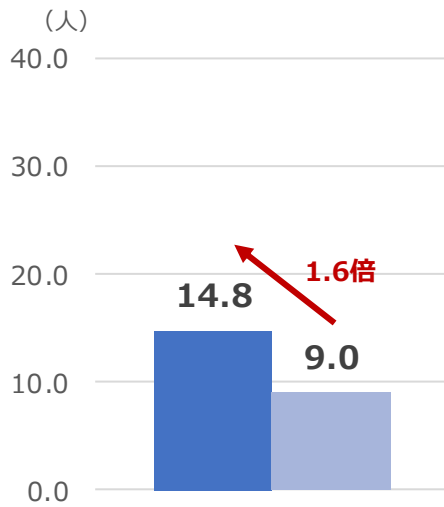
### 〈参考〉各出会い方の内訳

友人紹介（合コン含む）	合コン
	合コン以外の友人の紹介
学校・サークル	同じ学校やクラス
	サークルや趣味・習い事の活動を通じて
婚活サービス	結婚相談所
	婚活サイト・アプリ
	恋活サイト・アプリ
	婚活パーティ・イベント
職縁	同じ会社や職場
	同じ会社や職場ではないが、二人もしくはどちらかの仕事やアルバイトを通じて
SNS・インターネット	SNSで
	SNS以外のインターネット（婚活サイト・恋活サイト除く）で
地縁・血縁・お見合い	幼なじみ・近所
	家族や親戚の紹介
	お見合い
その他	街中や旅先で
	その他

恋人の有無別に友人の数をみると、恋人がいる人は恋人がいない人よりも「同性の友人」が1.6倍、「異性の友人」が1.8倍、「インターネットのみでつながっている友人(同性異性問わない)」が1.9倍と、友人の数が多し。また「ここ1年以内で接点を持った異性の数」は、恋人がいる人は恋人がいない人よりも2.0倍と、異性との接点量も多いことがみてとれる。

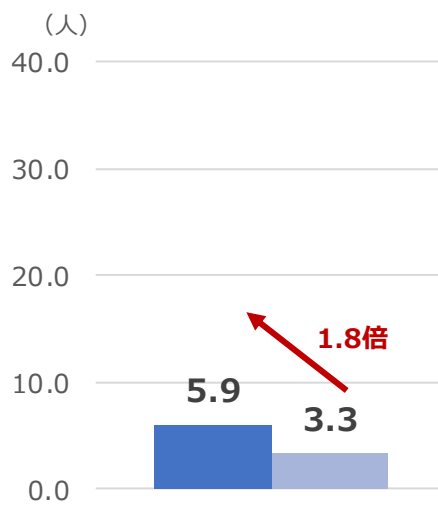
■同性の友人の数  
(全体/実数回答)

■ 現在、恋人がいる  
■ 現在、恋人がいない



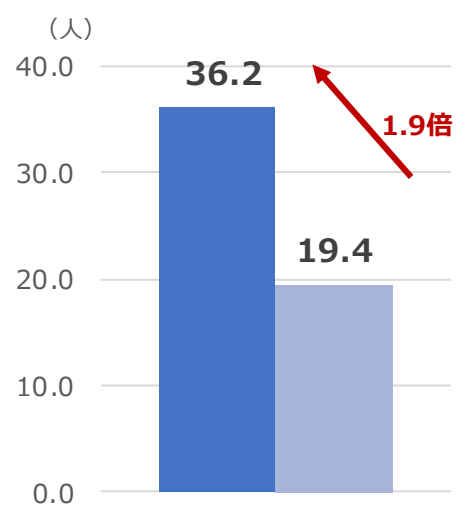
■異性の友人の数  
(全体/実数回答)

■ 現在、恋人がいる  
■ 現在、恋人がいない



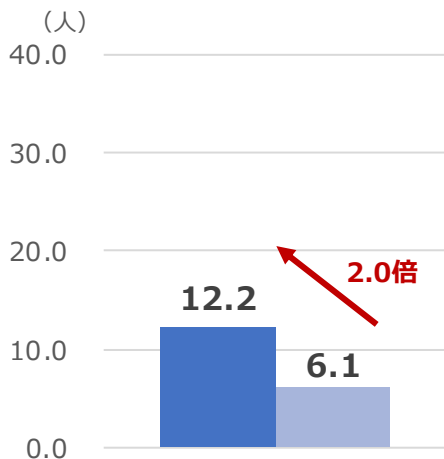
■インターネットのみでつながっている友人の数(同性異性問わない)  
(全体/実数回答)

■ 現在、恋人がいる  
■ 現在、恋人がいない



■ここ1年以内で接点を持った異性の数(全体/実数回答)

■ 現在、恋人がいる  
■ 現在、恋人がいない

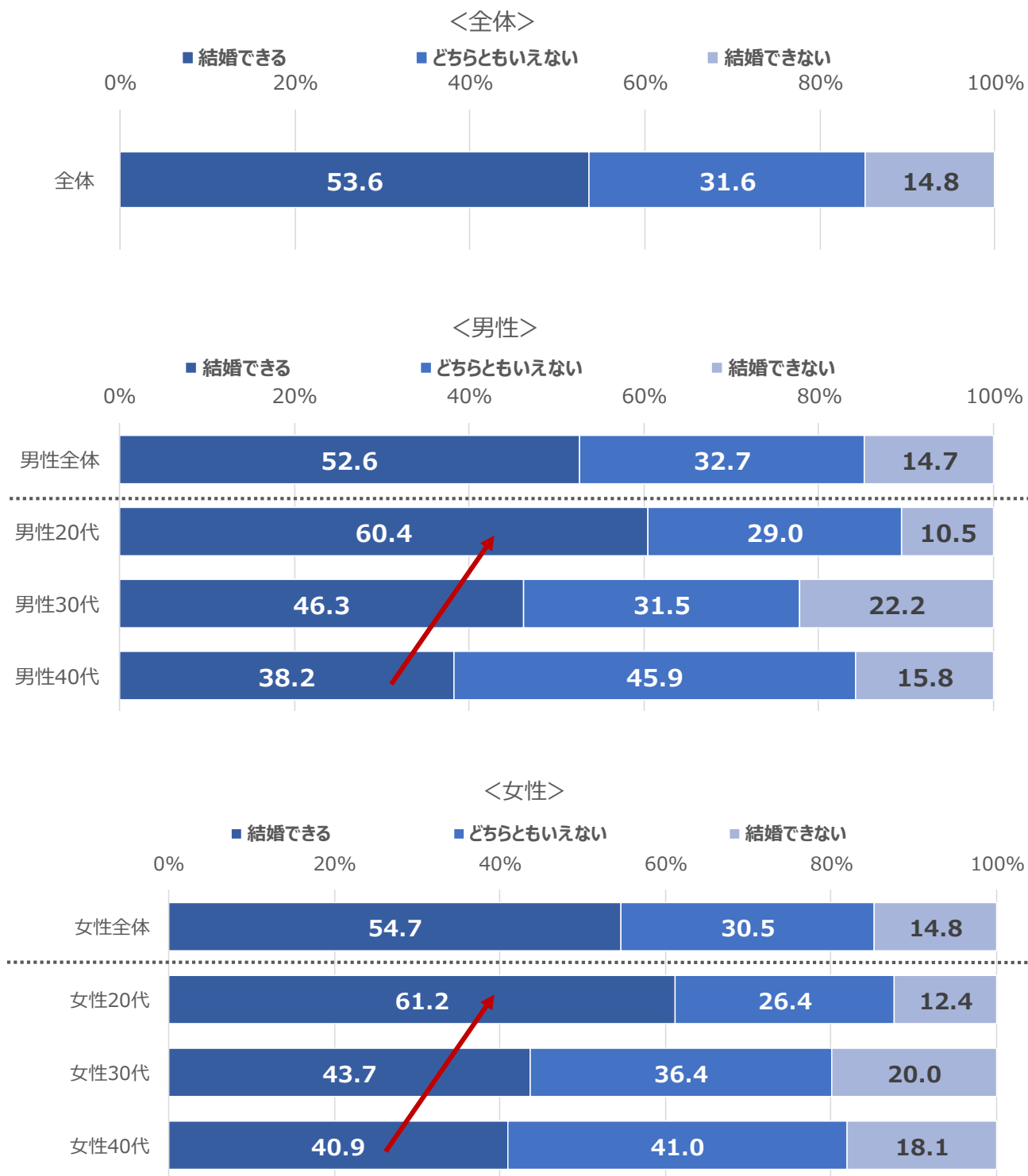


※以下の人数の合算  
 ・連絡先 (LINEやメールアドレスなど) を聞いた異性の数  
 ・SNS上で繋がった異性の数  
 ・二人きりで食事をした異性の数  
 ・二人きりで遊びにいった異性の数  
 ・デートした異性の数



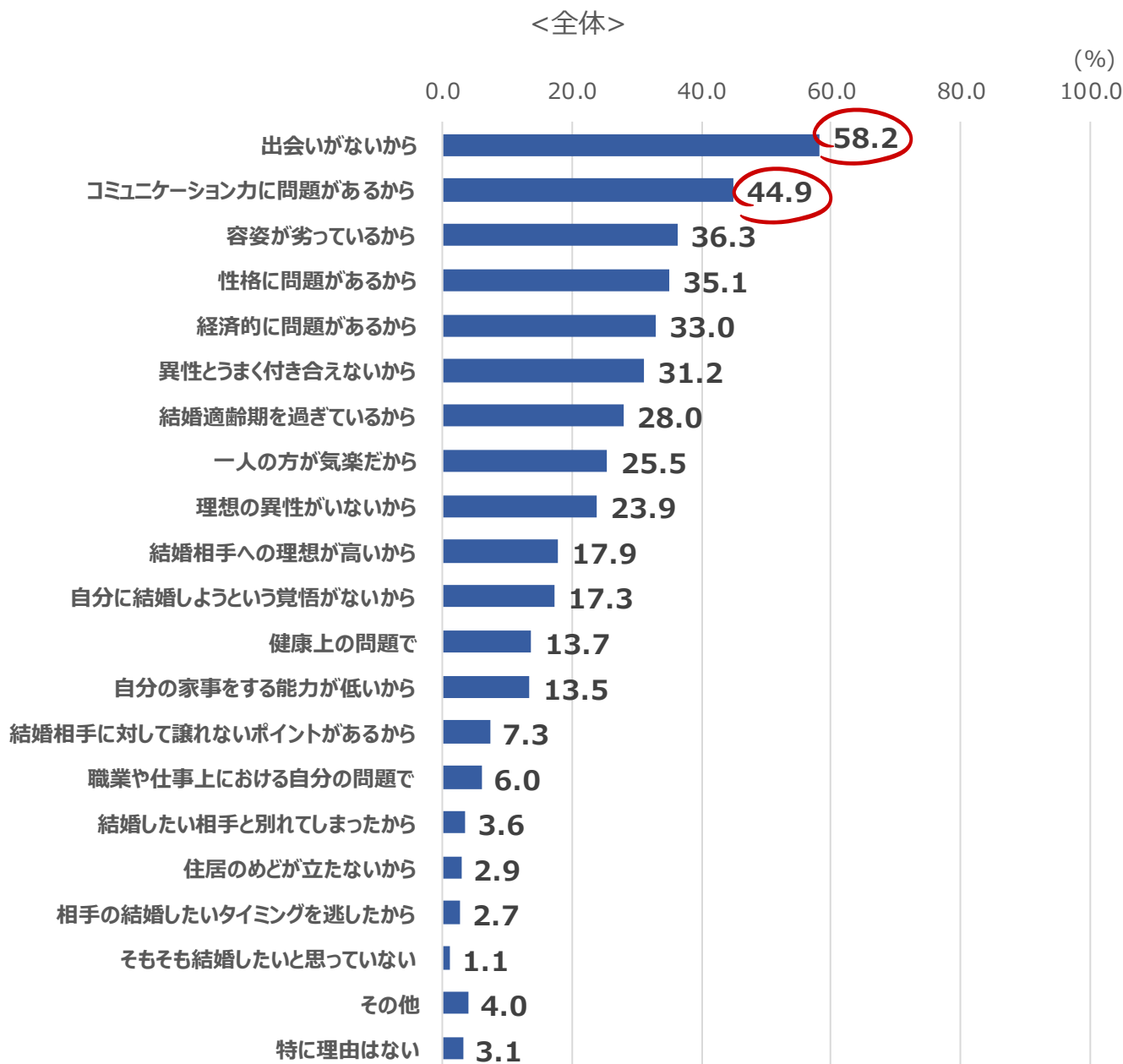
結婚意向のある20～40代未婚男女のうち、将来結婚できていると思っている人は約半数(53.6%)。結婚できると思う人の割合は若年層ほど高く、男女ともに20代では6割(男性:60.4%、女性61.2%)。

### ■将来結婚できると思う割合(結婚意向がある人/単一回答)



結婚意向はあるのに結婚できないと思う人の、結婚できないと思う理由は、「出会いがないから」が最も高く、次いで「コミュニケーション力に問題があるから」。  
出合いを提供することが重要だといえる。

### ■結婚できないと思う理由（結婚意向があり結婚できないと思う人／複数回答）



※降順ソート